

会 議 録

会 議 名	第 2 2 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 6 回		
事 務 局	公民館 本館		
開 催 日 時	平成 2 5 年 1 月 8 日 (火) 午前 1 0 時から午前 1 1 時 2 0 分		
開 催 場 所	公民館本館		
出 席 委 員	小川委員、菅沼委員、花淵委員、福井委員、山本委員		
欠 席 委 員	野口委員		
事 務 局 員	渡辺社会教育主事、和田主任、渡辺主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 講座の担当について</p> <p>2 主催事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども人権講座について ○市民講座について ○男女共同参画講座準備会について ○成人大学のテーマについて ○市民映画準備会について ○成人学校を振り返って ○シルバー大学準備会について ○シルバー大学を振り返って <p style="text-align: center;">次回日程 2月5日(火)午前10時から</p>		

司会 小川企画実行委員

まず、講座の担当についてからお願いいたします。

1 講座の担当について

渡辺（陽）：既にみなさまにお配りしている担当表ですが、山本委員には、来年度いきなり担当されるのも厳しいと思いますので、ご希望の講座担当に入って慣れていただき、来年に向かうという感じでよろしくお願いいたします。

2 主催事業について

○子ども人権講座について

渡辺（陽）：昨年、準備会に参加していただいた方と調整を取り今年度の準備会を2月12日（火）午後3時30分から行うことになりました。

○市民講座について

渡辺（太）：お手元に実施要項（案）をお配りしています。11月から準備会を行い、テーマが「人と地域を支えあうネットワークづくり」に決まり2月14日から3月7日の間の毎週木曜日4回講座で実施する予定ですが、現在3回目、2月28日（木）の講師が決まっておらず調整中です。準備会では、4回中2回を防災関連の内容でということになりましたので、1枠は、「地震と立川断層」の話しで決まっております。もう1枠を地域の防災対策とのことでしたので、地域安全課に講師の紹介をしていただいたのですが、話しが進まずまだ決まっていません。

花淵委員：消防署にお願いするのはどうでしょうか。

和田：お願いするにあたって地域と公民館という公的にお願いする場合とでは、地域を優先したいということでどうしても公民館の講座は後回しになりがち傾向があります。また、講師謝礼も消防署ですと受取れないので、どうしても断られるケースがありますので、もう少し考えた方が良くと思います。

菅沼委員：この段階で決まらないのであれば、地域防災にこだわらず 改めて仕切り直して、来週早々に準備会をもうけた方が良いのでは。15日（火）はどうでしょうか。

渡辺（太）：では、15日（火）午後1時30分から調整いたしますのでよろしくお願いいたします。

○男女共同参画講座準備会について

和田：市報1月15日号で公募いたしまして、1月25日（金）午前10時から行います。講座の実施としては、2月の後半から

3月の前半を予定しています。

○成人大学のテーマについて

渡辺（陽）：この講座の趣旨は、市内の大学と連携して専門的な学習を行うということです。ですから、準備会は公募せず企画実行委員と職員で行っています。本館の場合は、東京学芸大学の協力でキャンパスを使用し3回講座で実施しております。

去年は、現代ヨーロッパ考、その前は、いのちの社会史、大地震は予知できるかという多彩なテーマを取り上げています。

今年度は、担当企画実行委員の方に、こんなテーマを取り上げたらという意見を出していただき、2月にテーマの方向を決められればと思っています。

菅沼委員：去年の参加者のアンケートを見せていただいてから考えさせてください。また、学芸大学の教授がどのようなことを専攻しているのかも調べてからの方が良いかと思います。

渡辺（陽）：では、ご用意いたしますのでよろしく願いいたします。

小川委員：成人大学は準備会があると聞きましたが。

渡辺（陽）：準備会は行わなくなりました。以前、準備会でこの教授でお願いしますというような方もおられましたが、学芸大学との協議で対応できかねるということで、企画実行委員と職員の方でテーマを決めるようになりました。

山本委員：成人大学と成人学校、シルバー大学の目的はどのようになっているのですか。

渡辺（陽）：小金井市だけではなく公民館をつくった時に、成人学校という講座が一番オーソドックスな名称だったのですが、都市型の公民館のあり方を検討したとき、スタートしたのが市民講座でした。その後、成人大学が開設しました。専門的、体系的な学習が必要であるとの認識にたっています。大学のノウハウを借りながら実施しております。

募集対象は基本的に同じなのですが、少し異なるのは学芸大学は国分寺市と連携し市民大学を実施していて、そこに小金井市民も参加できるようになっていますのでインターネットにも公募し他市の方も参加できるように一部枠をご用意しております。

○市民映画準備会について

渡辺（陽）：以前もお話ししましたように、春以降、準備会を開催したいと思います。予算措置できるようになれば夏の下旬までに一定の方向が出せればと思います。

花渕委員：現在はこの本館で上映していますが、貫井北町地域セ

ンターができた場合、そちらに移ることもあるのですか。

渡辺（陽）：新市民映画会になった場合、平成26年4月からのスタートになるので貫井北町地域センターで上映するようになった場合いつからスタートするかということも問題になって来ます。

山本委員：市民交流センターは使用できないのですか。

渡辺（陽）：有料施設ですので、予算化しなければなりません。現状では難しいと考えていただいた方が良いでしょう。

福井委員：この準備会は、市報等で公募するのですか。

渡辺（陽）：3月号の市報で公募予定です。

○成人学校を振り返って

渡辺（太）：「西洋絵画を読み解くパートⅢ」ですが、今年の11月19日から12月3日の間の毎週月曜日、午後1時30分から午後3時30分までの3回講座で実施いたしました。募集人数60人のところ95人の応募があり、実質の参加人数は56人でした。この講座はパートⅢということで、今回が3年目になり講座として一定の成果を達成したと思われまます。みなさまには参加者からのアンケートを集約したものをお配りしていますので、お目通しのほど、よろしく願いいたします。担当委員から何か意見はありますか。

小川委員：前回、終わった講座については、その状況を把握し良かった点、悪かった点特に悪かった点について、どこが悪かったのか原因とその対策、それを次回の講座に反映させるという意味でこれを議題として取上げてほしいと発言しました。アンケートの集約を目を通しましたが、その中に、画像が不鮮明だった、絵の映像が少なかったという意見がありますが、ひとつの絵画についての解説が長かったと思います。美術館のイヤホンでの解説のような感じでも良かったのではないかと思います。

渡辺（太）：画像に関しては、機材等の関係で否めないものがありますが、解説は講師の独特な魅力があり参加者から好評をいただいています。

菅沼委員：映像に関しては、そういう意見もありましたがパートⅠからパートⅢを通して参加者のみなさんは満足していたと思います。今回で一応区切りをつけて次回、何をテーマに取上げるかを検討して行く方向で良いと思います。このアンケート集計を見ると市報を見て応募している方が多いので、市報掲載は重要だと感じました。

福井委員：このアンケート集計に、配布資料に絵のコピーを添付してもらいたいとありますが、私も同意見です。

和田：今年の4月から著作権法が厳しくなり、音楽、楽譜、絵画、書物などのコピーができなくなります。公民館の講座で配布する資料も同様です。

○シルバー大学準備会について

和田：市報2月15日号掲載予定で2月27日（水）の午後開催を予定しています。

○シルバー大学を振り返って

和田：6月13日から11月7日の間の毎週水曜日、全15回で参加者は46人、準備委員7人、合計53人で内訳は男性37人、女性16人延べ人数638人でした。参加率は77パーセントを確保できました。

以前は応募者が200人くらいあったのですが、今回は40人から50人になった理由としては、昨年度から他館との高齢者学級として重複受講ができなくなったというのもひとつの要因かと思われます。反省点は、講座の後半になり依頼していた講師の都合等により講師を変更せざるを得ないことが多く、受講者の方にはご迷惑をおかけしましたが休校の手段をとることなく、急遽他の講師に依頼し開催あたったが、予定していた講座内容に変更が生じたのは残念でした。次年度については、前半と後半に分けて準備をする方向で検討しています。

以上